

良好な自然環境と調和のとれた県土保全に向けた愛知県の海岸整備(防災・安全)

計画概要

◆計画期間

平成27年度～平成31年度(5年間)

◆計画の目標

南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、愛知県沿岸地域において、住民の津波避難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的、総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。

◆計画の成果目標(定量的指標)

指標①

あいち地震対策アクションプランに位置付ける海岸堤防等の耐震化率を58%にする。

指標②

あいち地震対策アクションプランに位置付ける水門等の耐震化率を70%にする。

指標③

あいち地震対策アクションプランに位置付ける海岸堤防等の健全度化率を79%にする。

指標④

海岸侵食防護面積を28.2haから9.2haへ軽減する。

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 海岸事業	2,292百万円	西尾海岸を始めとする水門耐震化等を実施	22.1%
B 関連社会資本整備事業	0百万円		%
C 効果促進事業	41百万円	田原・豊橋海岸における侵食モニタリング等を実施	7.2%
合 計	2,333百万円		

※事業費は実績額

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合【事業費ベース】

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況（別紙1）

西尾海岸 津波・高潮危機管理対策緊急事業により、海岸水門の耐震化対策を実施し、背後地の浸水被害に対する安全度が向上した。（別紙1）

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(海岸堤防の耐震化率)

最終目標値	58%	目標値と実績値に差が出た要因	本計画における交付金事業費の減少により、事業計画に遅れが生じたため。
最終実績値	21%		

指標②(水門の耐震化率)

最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	本計画における交付金事業費の減少により、事業計画に遅れが生じたため。
最終実績値	20%		

指標③(海岸堤防の健全化率)

最終目標値	79%	目標値と実績値に差が出た要因	本計画における交付金事業費の減少により、事業計画に遅れが生じたため。
最終実績値	65%		

指標④(海岸侵食防護面積)

最終目標値	9.2ha	目標値と実績値に差が出た要因	本計画における交付金事業費の減少により、事業計画に遅れが生じたため。
最終実績値	19.8ha		

◆今後の方針

- ・R2年度から新たな計画により、堤防の耐震化、老朽化対策や水門の耐震化及び自動化を総合的に実施し、安全・安心な地域づくりの実現に努める。
- ・R2年度から新たな計画により、侵食対策を実施し、侵食モニタリングにて継続的に観察を実施し、着実な国土保全の実現に努める。
- ・未完了の事業については、早期整備完了を目指す。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	策定主体にて評価を実施。
事後評価の実施時期	2022年3月
公表の方法	WEBページ掲載 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/0000039039.html)

【基幹事業】**■事業名**

西尾海岸 津波・高潮危機管理対策緊急事業

■工事概要

西尾海岸（平坂防潮樋門）は三河湾内の平坂入江に位置している。背後には西尾市の市街が広がり、工場施設、住宅等が密集しており、主要地方道岡崎碧南線等の主要な交通網も整備されている。

当地区は、東海地震に対する地震防災対策強化地域、東南海・南海地震防災対策推進地域指定されているが、現樋門は昭和38年竣工のため、整備から50年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、耐震性能も確保されていない。当樋門が地震により被災すれば、住宅や施設の浸水により地域に多大な影響を及ぼすため、樋門の耐震補強を実施することで、背後地の安全度を向上させる。

■事業箇所

西尾市

■事業主体

愛知県

■事業効果

耐震性を備えた水門を整備し、背後地の浸水被害に対する安全度が向上した。

